

[03_01]九州大学大型計算機センター広報 : 3(1)

<https://doi.org/10.15017/1467966>

出版情報 : 九州大学大型計算機センター広報. 3 (1), pp.1-55, 1970-02-24. 九州大学大型計算機センター
バージョン :
権利関係 :

編 集 後 記

広報VOL 3 No.1をお届けします。

九大の箱崎構内にあるオープン・パンチ室には現在13台の穿孔機を設置しています。年末よりこのオープン・パンチ室の利用者が特に多くなっています。予約台2時間、自由台30分の制限もいつの間にか消えてしまった様子で午前9時から午後5時までとし日中「貸切」の状態になっている穿孔台があるしまつです。多くの研究者の共同利用施設ですから他の利用者のことも考えて制限時間は必ず守られるように願います。センターではこの状態を緩和するため、2月2日よりオープン・パンチ室の利用時間を午後8時までに延長しましたがいかがでしょうか。本センターに移転した後の業務体制を現在検討中ですが、オープン・パンチについても台数を増すことと共に予約毎2時間、自由台30分のほかに5分またはカード10枚などの制限をつけたデバック台を設けたらと考えています。

皆さんの中に良いアイデアをお持ちの方はセンターへお申し出ください。

「九大センターの利用者はおとなしい。」という話を時々耳にします。問合せ票や投書箱の利用も少ないようですし、一時は苦情窓口的な感じがしていたプログラム相談も最近では苦情らしきものが見うけられません。これはセンターが利用者にとって円滑に動いているためでしょうか。それとも利用者にあきらめられたためでしょうか。仮設センターだからと今まではつい目をつむってしまったと言われる方も多いことでしょう。利用者の声が将来のセンターを作り出すものと思います。迷惑したこと、うれしかったこと、新しいアイデアなどをどしどしお寄せください。

毎週土曜日の午後、TSS実験グループによってリモートバッチのテストがくりかえし行なわれています。最近では計算機の調子もよく、多種のジョブもスムーズに実行しているようです。本センターに移転しましたら本格的に利用できるのではないかと期待しています。

九大センターが実際に利用者への計算サービスを開始して一年を経過しようとしています。また、広報の発行を始めて3年目に入りました。利用者のための共同利用センター、利用者のための広報にしていいため、多くのご意見、ご希望をお寄せください。